

授業科目名	スクールソーシャルワーク実習指導			科目コード	K1504P13		
英文名	Guidance on Practical Training in School Social Work						
科目区分	子ども育成の相談・援助						
職名	教授	担当教員名	村上 満				
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科				
曜日	木曜日	時限	4限目				
開講時期	4年前期	授業の方法	講義				
必修・選択	自由	単位数	1単位				
授業の概要	スクールソーシャルワーク実習を行うにあたり、学校教育現場で想定される対人援助の際の基本的マナーをはじめ、チームの一員としての連携の持ち方、実習を深めるための記録や実習日誌の書き方等について個別指導および集団指導を行う。						
キーワード	アセスメント	社会資源	校内相談体制	プロセス評価	アウトカム評価		
到達目標	学校教育現場の中でソーシャルワーク実習を行うことの意義について理解できる。（50%）						
	学校現場と学校組織等について理解し、教育の場で活かせる社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等総合的に対応できる能力を習得する。（50%）						
卒業要件・資格関連等							
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー		
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）						
カリキュラムポリシー	子どもの発達と相談支援						
キー・コンピテンシー（重視する能力）							
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力			
教授方法（授業方法）							
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動		

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション：学校教育現場におけるソーシャルワーク実習の意義について ・富山市生活保護受給世帯等学習支援事業について ・実習事前指導、実習中指導（巡回指導）、実習事後指導について	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第2回	学校組織や学校関係機関の理解 ・学校、教育委員会、教育センター、教育事務所、適応指導教室等の説明	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第3回	実習先で必要とされる相談援助 ・子ども、家庭、教員に係る知識と技術に関する理解	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第4回	実習先で必要とされる相談援助 ・チームで対応する力、ケース会議に係る知識と技術に関する理解	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第5回	実習の内容について ・現場体験実習（個別面接、ケース会議等）について ・見学実習について	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第6回	実習における記録について ・実習記録のノートへの記録内容及び記録方法に関する理解	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第7回	実習計画の作成 ・実習生、実習担当教員、実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画の作成	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第8回	実習報告会の説明（2月実施予定） ・実習記録や実習体験を踏まえての全体の総括	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分

第9回		
	【予習】	
	【復習】	
第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標項目1～2は、模擬ケース会議におけるアセスメントやロールプレイ等、実習に向けての取り組み姿勢で評価する。(80%)</p> <p>受講態度・出席カードの記述内容等で評価する。(20%)</p> <p>なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。</p> <p>人間性：20% 社会性：30% 専門性：50%</p>		
使用資料 <テキスト>	『学校ソーシャルワーク演習』 門田光司 他 (ミネルヴァ書房)	使用資料 <参考図書>	毎回の授業で、関係資料を配布する。 日本学校ソーシャルワーク学会
授業外学修等	<p>上記時間外においても、予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。</p> <p>毎回講義の開始時に、振り返りのための復習課題を課す。</p> <p>児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておくこと。</p>		
授業外質問方法	<p>オフィスアワーに研究室を訪問するか、メール(murakami@tuins.ac.jp)で質問してください。</p>		
オフィス・アワー	<p>木曜・3限 E709村上研究室</p>		